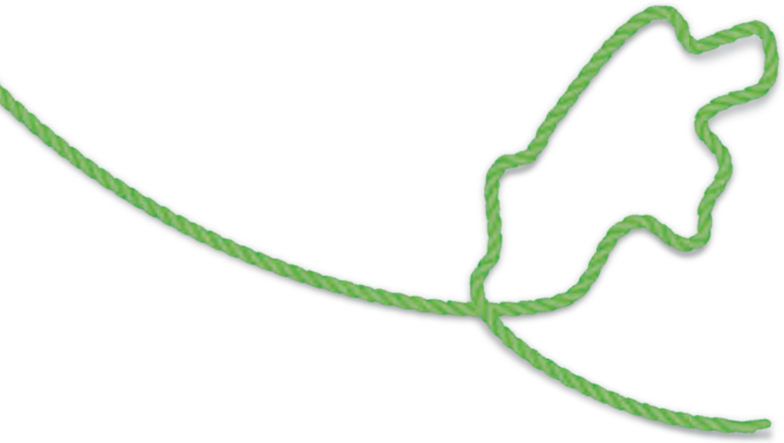


長野県デザイン振興協会
Naganoken Design Promotion Association

編集・発行	長野県デザイン振興協会
監修	長野県デザイン振興協会 発信委員会
編集・構成	相澤徳行［相澤デザイン室］／神尾宏樹［㈱エイブルデザイン］／小林弘典［㈱エイブルデザイン］／辻圭介［セイコーエプソン㈱］／轟久志［㈱トドロキデザイン］／松本多希馬［エムケー精工㈱］／溝口諒［でざいんと］／宮下ひろみ［宮下デザイン制作室］
クリエイティブディレクター	轟久志［㈱トドロキデザイン］
デザイン	溝口諒［でざいんと］
ライター	内山峯子［㈱エイブルデザイン］／松田隆［㈲アンチテーゼ社］
撮影	赤沼栄治［㈱エイブルデザイン］
印刷・製本	カシヨ㈱

事務局
〒380-0838 長野市県町584 長野県経営者協会会館内
TEL：026-238-6360　FAX：026-238-6442

中南信デザイン活用拠点
〒399-0736 長野県塩尻市大門一番町12番2号
塩尻市民交流センター（えんぱーく）内4階405号室

CONNECT

NAGANO-KEN DESIGN
PROMOTION ASSOCIATION

WAS ESTABLISHED IN 2002 TO CONTRIBUTE
THE INDUSTRIAL AND SOCIAL DEVELOPMENT OF
NAGANO PREFECTURE BY PROMOTING DESIGN.

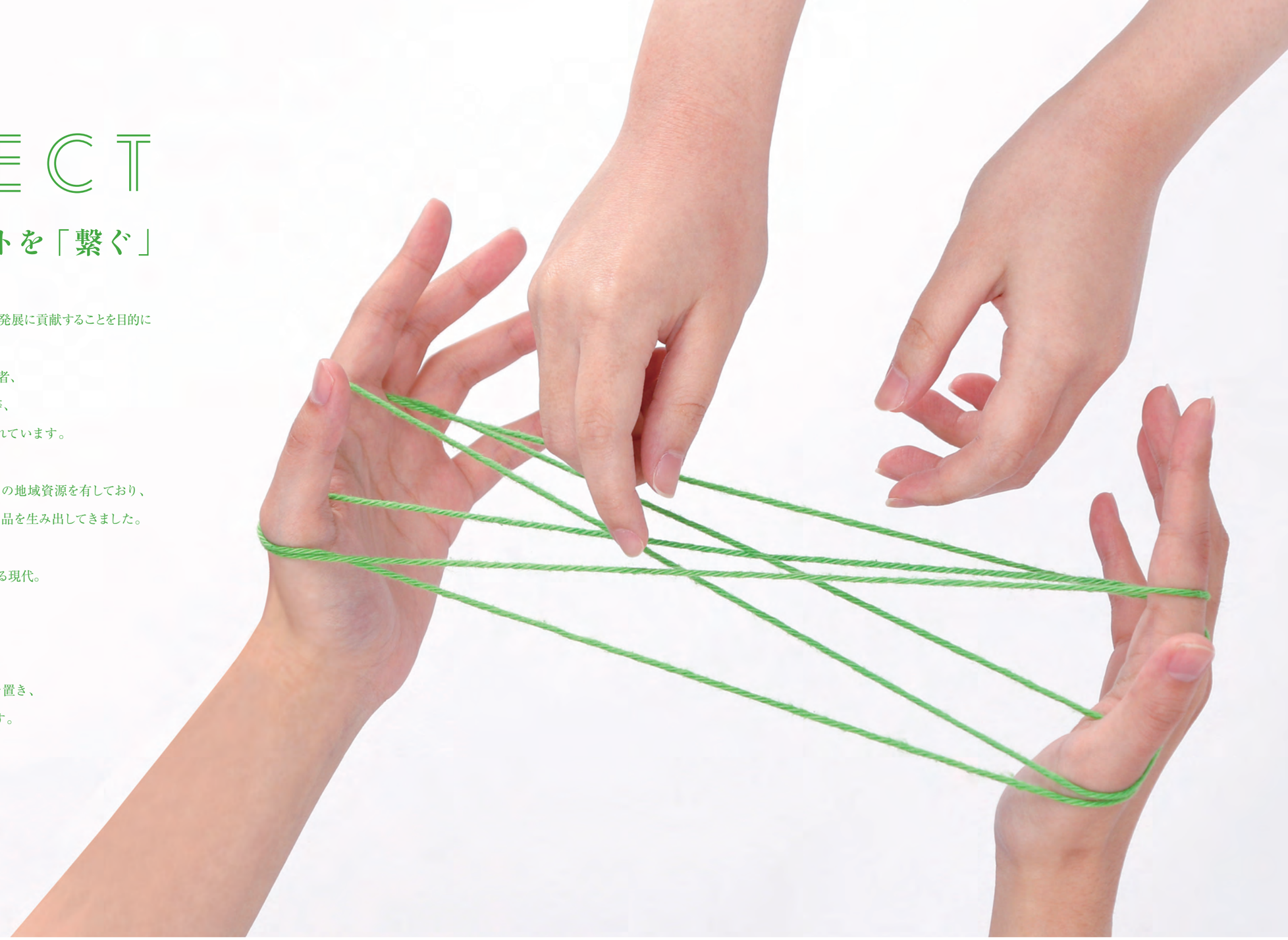
CONNECT

デザインと様々なモノコトを「繋ぐ」

長野県デザイン振興協会は、デザインで長野県の産業・社会発展に貢献することを目的に
2002年に設立された、民間主導の任意団体です。
県内のデザイン部門を擁する製造業事業者、デザイン事業者、
メディア・広告関連事業者、デザイン教育法人、弁理士等、
約100の法人・個人会員が加入し、会費によって運営されています。

長野県は豊かな自然と長い歴史の中で育まれてきた数多くの地域資源を有しており、
伝統的な匠の技と、先進の加工技術で優れた工芸品や製品を生み出してきました。

情報の量・速度が加速度的に増加し、多様性が膨らみ続ける現代。
長野県の各地域が持つポテンシャルをデザインの創造力で
有効に引き出し、活性化を図るために
「デザインを知る」「デザインを作る」「デザインを伝える」の
3つの方向性を掲げ、会の主体性と会員の自主性に重きを置き、
デザインと様々なモノコトを「繋ぐ」事業を展開しています。



感動、共鳴、情熱を生む
デザインの未来と価値創造

長野県デザイン振興協会 会長
土屋 修三

品質（内容）×コスト（数量）×納期（時間）への対応による切迫から、生産技術やサービスの品質が画一化されていく一方、社会構造は多様化・グローバル化が進んでいます。また、第４次産業革命が進展し、AIやIoTなどの普及、環境・エネルギーへの取り組みに対して、生活対応の変化は私たちの業界にも大きな課題を投げかけています。また新たに、教育（文化）・豊かさ（ものから心）・ことづくり（街づくり）・未来づくり（志づくり）など、新しい価値を探求し求める人たちも増えています。
こうした時代の変化とニーズに「応えられる」クリエイティブなデザインを提供していくことが私たちの最優先、最重要な使命だと考えています。そのためには、信州の地域資源や人材を新結合させ、南北にひろがる県内数多くの地方文化を新しい形で次世代に引き継ぎ、価値創造を計れるよう、デザイン導入企業の参加を増強し産学官連携のもと、デザインビジネスを推進するコンシェルジュとしての役割をより一層担ってまいります。信州発の総合的デザイン振興事業の展開にご期待ください。

知る

信州のモノコトを
世界へと結ぶ、さまざまな挑戦。

なるほど。
こんな発信の方法があったのか。

信州ブランドフォーラム

2004年に長野県デザイン振興協会が発起人となり、県の主要経済4団体（県経営者協会、県商工会議所連合会、県中小企業団体中央会、県商工会連合会）と共にスタートしました。地域経済はグローバル化を背景として大変厳しい状況にあり、それを打開するには自らブランドを掲げて積極的に市場に打って出る必要があります。そんな地域のブランディングニーズに地元デザイナーならではの発想で関わり、役立つ活動に繋げます。

SHINSHU BRAND FORUM and SHINSHU BRAND AWARD

SHINSHU BRAND AWARD

信州ブランドアワード

信州から発する「地域」「企業・事業」「個別」のブランドを募集し、並行して委員会で行う推薦と合わせて対象をリストアップ。「志向性」「表現性」「情報伝達性」「地域性」「継続発展性」の5つの指標により選考し、9月に有識者による最終選考審議を経て「大賞」「長野県知事賞」他各賞が決定します。

県内ブランドの募集・リストアップ

志向性　表現性　情報伝達性　地域性　継続発展性

大賞
長野県知事賞
個別ブランド部門賞　企業・事業ブランド部門賞
地域ブランド部門賞　入選（複数）

2004
SHINSHU BRAND AWARD
GRAND PRIX ARCHIVES
2016

SUPPORT ANNOUNCEMENT
ブランドづくり支援発表

信州の地域資源を「喜ばれる商品・ブランドに」をコンセプトに地域資源製品開発支援センターに依頼のあった代表的な支援事例を紹介します。

GUEST LECTURE
招待講演

地域ブランドに先進的に関わり活躍されている講師を招待。地域振興やブランドづくりを進めようとする方々の活力となる講演を行います。

PANEL DISCUSSION
パネルディスカッション

講演講師や県内でブランドづくりに先進的に関わる方々を交えて、長野県内のブランドづくりを通した地域活性化の実態・課題・展望を語り合います。

作る

信州「ならでは」「らしさ」を
鮮やかに魅せる。感じさせる。

信州に暮らす喜びが
ギュッとつまっているみたい。

信州デザインコンペ

信州の地域特性を活かした信州ならではのデザイン提案を募り選考するコンペです。2007年からは「信州のLIFE STYLE」をテーマに、2016年からは当協会の目的に則した「より地元産業と結びつき、貢献する」というテーマのもと、地元企業や伝統産業から商品化を見すえた課題をいただき、広く公募しています。審査は、協会内外からクリエイティブの分野で活躍する方を迎え、公開で行っています。

COMPETITION

信州デザインコンペ2016 ～デザインが社会で使われるコンペ～

より地元産業と結びつき、貢献することを目的に、2016年からコンペ内容を刷新し、長野県内企業3社から商品化・実用化を前提とした課題を提供いただいています。

○「ほしりんご」3種類のパッケージ
○「信州北八ヶ岳山麓豚」のパッケージ
○「日本一の星空」「日本一のはなもも」のロゴマーク

LIFE DESIGN信州

2007
ECO LIFE ～信州の身近なエコ生活～
グランプリ／デザイン提案部門賞
「つちかびん」

2008
伝統工芸
グランプリ／デザインPR部門賞
「内山和紙のポスター」

2009
信州の食
グランプリ
「信州の特産物を持ち歩く『おいしいさんぽ』」

2010
信州のおもてなし
グランプリ
信州のおいしいおもてなし

2011
水
グランプリ
酒瓶再生

2012
信州の旅
グランプリ
なから雑貨

2013
信州の癒やし
グランプリ
にぎにぎおやき

2014
信州＋北陸 ～新デザインの可能性～
グランプリ
信州北陸の旅

AWARD CEREMONY
信州デザインコンペ 表彰式

長野県デザイン振興協会が主催するオープンコンペの表彰式。受賞者によるプレゼンテーションや審査員による講評もあります。

COMPANY PR EXHIBITION
課題提供企業PR展（信州デザインデイズにて開催）

「信州デザインコンペ」の課題提供企業による展示。現状のデザインとコンペで入賞した作品を比較してみるのも興味深いです。

伝える

信州に受け継がれてきた
クリエイティブな遺伝子をつなぐ。

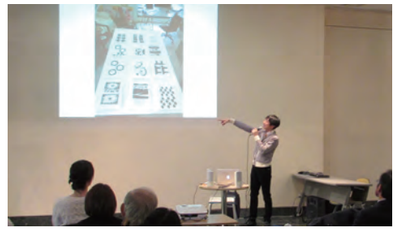
外の人から言われて
再発見することもあるよね。

信州デザインデイズ

長野県内で活躍するデザイナー、クリエイターの日頃の成果の展示およびプレゼンテーションをとおして、県内クリエイティブ業界のポテンシャルを一般の方々に発信、啓発することで、創作文化の活性化を目指すイベントです。長野県デザイン振興協会が主催する「信州デザインコンペ」の入賞作品展示や表彰式、審査員による講評や講演会などの自己啓発の場でもあり、クリエイターの交流の場でもあります。

招待講演

LECTURE



日本の第一線で活躍するクリエイターを迎えての講演会。仕事の裏話や制作秘話など貴重な話を聴くことができます。アイディアのヒントや、長野県のクリエイティブへのアドバイスなどもいただけます。

2017
アッシュコンセプト（h concept）代表取締役
名児耶 秀美 氏
「デザインを活用したモノづくり」

2016
富山大学 芸術文化学部 プロダクトデザイン教授
内田 和美 氏
「デザインを伝えること」

2015
株式会社Hotchkiss 代表
水口 克夫 氏
「デザインに求められていること」

2014
株式会社 左合ひとみデザイン室 代表
左合ひとみ 氏
「地域を輝かせる『地産デザイン』」

EXHIBITION & FREE MARKET
会員展示&フリーマーケット

長野県デザイン振興協会会員の仕事や取り組みなどを展示。クリエイターが制作したオリジナルグッズの販売も。

EXHIBITION OF WORKS
コンペ入選・受賞作品展示

毎年開催されている「信州デザインコンペ」の入賞・受賞作品を展示。長野県の地域資源を活用した斬新なアイディアが集合。

DESIGNERS' WORKSHOP
デザイナーズ・ワークショップ

プロのデザイナーと一緒にオリジナルグッズをつくるワークショップ。自由な発想・技法でデザインを体験できます。

※イベントの内容は開催年によって変動します。

県外デザイン団体との交流

県外デザイン団体との交流を深めるため視察旅行を行っており、2017年にはデザイン先進県である富山県を訪問。富山県総合デザインセンターや富山大学芸術文化学部を見学したり、能作や三協アルミ社などの企業を訪れたりと充実したデザイン交流となりました。2014年には石川県デザインセンターへコンペの審査員をお願いしたり、デザインデイズでは「北陸のデザイン展」も展示するなど、長野県内に留まらず隣県とも連携してデザインを盛り上げています。

これからの長野県デザイン振興協会

委員長による青空座談会

松本　本日は各委員長に集まっていただき、これからの長野県のデザインと長野県デザイン振興協会について、お話をお聞かせいただきたいと思います。
現在、協会では、デザインデイズの開催やWebサイトの運営、パンフレットの制作など、様々な活動を外部に発信し、協会に加入していただけるような取り組みを行っていますが、会員数が増えない、ネームバリューが低いという声も聞こえてきます。これは何が問題だと思われますか？

轟　若いデザイナーに、当協会の情報やメリットが届いていない。未だに「偉いおじさんたちがいる団体」だと思われているところがあります。主役はデザインする人であって、その人が活躍しやすい場所であることが理想だと思います。協会もそうなりつつあるのに、それが届いていない。若い人たちは、入りにくいという印象があるようです。

清水　日本全国のデザイン団体の共通課題だと思います。活動しているのは40代、50代の会員で、その上のレジェンドクラスも、名前は連ねているけれど出てこない。協会に入るメリットは、人脈を作ったり、知識の糸口を見つけたり、新しい制度や法律ができた際のセミナーや勉強会もそうだと思いますが、最大のメリットはレベルアップではないかと思います。この人すごいな！と思う人に出会ったり、悔しいと思ったりすることが自分のレベルアップに繋がる。すごいものを見せつけられて、もっと上を目指す気持ちが生まれる。それこそが最大のメリットではないでしょうか。

和田　長野県デザイン振興協会は、グラフィックやインダストリアルデザイン、Web等の団体や行政、大学、専門学校、印刷会社、代理店、さらにデザインに関わる個人や会社が集まった任意団体です。年配の人も若い人もいて、いろいろな人の意見が聞けたり、いろいろな会社の人と知り合えて刺激を受けます。そういう面白さがちゃんと伝わっていないのかもしれませんね。

松本　加盟している企業の立場からすると、経営者協会が属している組織で社会的信頼性があるというところは、幹部の理解を得られて、参加しやすいのですが。

清水　協会の立ち位置や権威は結構大事です。地域社会に貢献して、それが認められた人たちがブランドアワードの評価をしているというところまで持っていかないといけない。受賞者も協会から表彰されたことを誇りに思えるように。

轟　普段は同世代とばかり話をしていますが、協会に入ると、いろいろな世代やジャンルの方がいるので、勉強になりますし、刺激になります。

清水　若い人と年配の方をうまくまとめるのも委員長の役割だと思います。

松本　若い人たちが入ってきて、年配の方が抜けるという“若返り”ではなく、年配の方も残りつつ若い人が増えていく、これが理想ですね。

清水　協会はレジェンドと若者が共存できる。それが魅力だと思います。レジェンドと若者が語り合える場を作っていけば、他にはない協会のカタチになるのではないでしょうか。

一同　そのとおりだと思います。

清水　レジェンドのデザインと現役世代のデザインと、これからデザインを実践していこうという若者のデザインは、それぞれ考え方も違うし価値観も違う。
若い人たちは、デザインを利用する消費者のためにデザインを形成していく立場だから視野を広げる必要がある。その機会を与えてもらえるのが協会のメリットだと思います。

松本　普段仕事をしていて、長野県のデザインについて何か感じることはありますか？

轟　首都圏のデザインと比較されることがありますが、あまり意識はしていません。都会的なデザインにしたからといって売り上げや知名度のアップには繋がるとは限らない。自己満足で終わらせるのではなく、クライアントの思いをデザインすることを心がけています。その中で“信州らしさ”が感じられるものになればいいですね。

松本　全国区に出たいというクライアントの依頼に、全国区と同じデザインをしていたら自分らしさが伝わらないですよね。

清水　地域に受け入れられるものは存在すると思うが、地方だからこのレベルでいいというのは全くない。地域性に武器があるとしたら、信州人の気質である“緻密さ”とか、水が清いとか、内陸気候で楽器づくりに向いているとか、そういう特色を活かした産業は、信州のデザイナーのアピールポイントではある。

和田　スウェーデンのストックホルムデザインなどは、わざわざ現地のデザイナーに仕事を依頼しています。日本で、信州のデザイナーにデザインを頼みたいというのは多分ない。清水さんがおっしゃったように、地元で暮らす人の感性や風土がデザインに活かせて、信州ブランドを外にアピールできるようになればと思います。

清水　自分の中で一番武器になっているのは幼少時代の経験なんです。大工さんが落としていった材木の切れ端でおもちゃを作るとか、お宮の屋根に上って怒られたとか、そういうことの全てです。
東京のクライアントからは、思いっきり飛んでくださいって言われるんですが、最初から完成度の高いデザインをするとつまらないと言われる。一旦飛んで、「いいね」となったら実際に作るにはどうしたらいいか落とし込んでいく。都会にはない感性や体感が、“ものづくり”に活きる気がします。

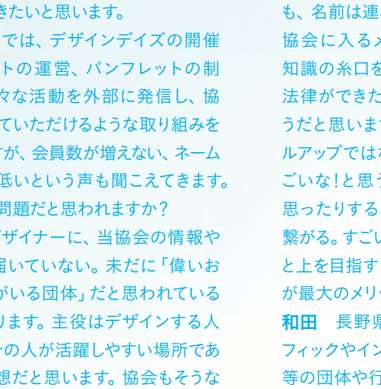
松本　最後に、これからの目標をお願いしたいと思います。

轟　情報を得たい人に届くように発信していかなければならないと思います。この活動を次代に繋げていくためにも、いろいろな方の意見を聞いていきたいと思います。

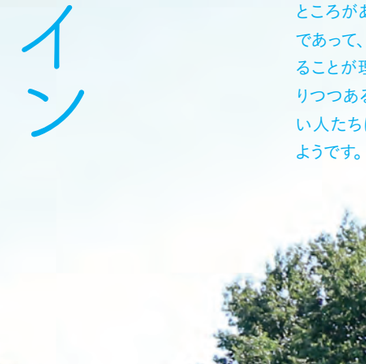
清水　最先端ばかり追いかけていて、原点の部分が見過ごされている。基礎技術の上に最先端が成り立っていることを知らずに過ごせてしまう環境にある。石を研いで矢尻を作る石器時代のような“ものづくり”の原点に立ち戻ったワークショップをやってみたいですね。

和田　会員や会社の核となる部分に長野県デザイン振興協会の魅力を伝えていきながら、行政や中小企業の困りごとをデザインで解決していけるように取り組んでいきたい。信州というブランドを広くPRしながら、ゆくゆくは県外、首都圏からも数多く仕事を依頼されるように繋げていきたいと思っています。

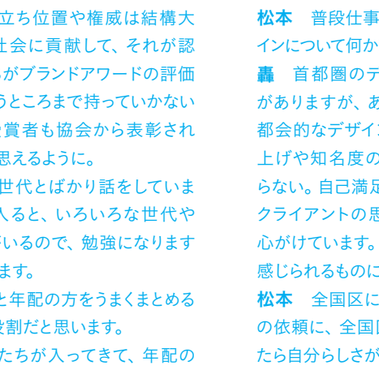
松本　本日はありがとうございました。



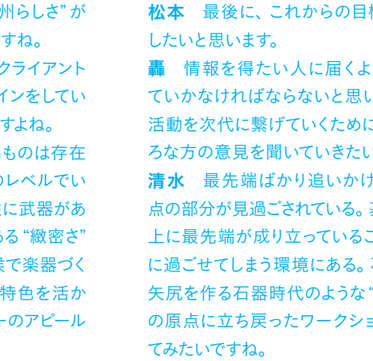
デザイン育成委員会 副委員長
ガク・デザイン・スタジオ有限会社 代表
清水 学



デザイン発信委員会 委員長
株式会社トドロキデザイン
轟 久志



デザイン支援委員会 委員長
株式会社エイブルデザイン
和田 裕



ファシリテーター
デザイン発信委員会 副委員長
エムケー精工株式会社
松本 多希馬

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

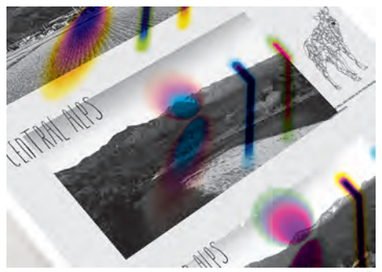
12

13

14

15

16


17

18

19

20

21

22

23

24

あらゆるシーンで Made in 信州を

約100の法人・団体・個人の会員が、
さまざまな分野のデザインに対応。
デザインで信州を元気にしています。

2017年9月現在
法人会員：50社　個人会員：49名

01.相澤デザイン室　02.アド・コマーシャル㈱　03.㈲いつか　04.伊那食品工業㈱　05.UNYdesign　06.㈱エイブルデザイン　07.オリオン機械㈱　08.セイコーエプソン㈱　09.エムケー精工㈱
10.岡学園トータルデザインアカデミー　11.ガク・デザイン・スタジオ㈲　12.㈲クローバーデザイン　13.C.C.C　14.㈲シオデザイン　15.㈲デザインスタジオ・エル　16.デコデザインスタヂオ
17.でざいんと　18.㈱トドロキデザイン　19.長野美術専門学校　20.フクキハル商會　21.DesignLab. +Ca　22.宮下デザイン制作室　23.専門学校未来ビジネスカレッジ
24.特許業務法人 綿貫国際特許・商標事務所

心に響くモノって
どんなモノ？

みなさんは品物を選ぶとき、何を基準に選んでいるでしょうか？好きな色、使い心地がよい、おもしろい、かっこいい、かわいいなど理由はさまざまだと思います。でも、共通していえるのは何かしら心に響いた「気に入った」ものに自然と手がのびているのだと思います。

宮下デザイン制作室
宮下 ひろみ

デザインと聞くと、とても特別なことのように思うかもしれません。しかし、実はデザインって、とても身近なことなんです。
だって身近にあるものはみんな「デザイン」されたものですよね。私たちと問題点を探し、解決しながら、より心に響かせるモノを目指しましょう！

NDPA
長野県デザイン振興協会

設立の趣旨

昭和30年代中ごろ、東京でデザインを学んだ若手のデザイナー達がふるさとに帰ってきて、地元のデパートや放送局、新聞社などの仕事をし始めたころから、長野県のデザイン活動が本格的に動き出しました。
そのような動きを受けて、県や商工会議所などによって設立されたのが長野県デザイン振興協会です。その後、工業デザインを研鑽するグループや、デザインとの接点を幅広く市民に広げることを目的とした松本のデザインキャンプも組織されました。
今日ではデザインは、商業、工業、建築、映像、生活、街づくりなど私たちの身の回りすべてに深く関わっています。そして、グラフィック、プロダクト、アーキテクツとそれぞれの分野で発展してきました。デザインは、作り手側の産業という分野だけではなく利用側の生活という分野からも非常に大切な存在になっています。
デザインに携わる人たちからすると、デザイン産業はステイタスや仕事の内容などまだまだ充分なものとはいえません。デザインを産業の中でより高いステイタスに押し上げ、有力な産業に育てていくためには、優秀なデザイナーやディレクターといったスタッフの育成とともに、デザインをビジネス遂行の重要な経営資源として位置付ける経営意識を持つことが必要です。このことが、長野県の産業振興にデザインが大きく貢献する鍵であると思います。
また、デザインを利用する人たち（生活者）の立場からすると、デザインは材質、使い勝手、目に映る感じなどさまざまな要素によって利用者と直接的に触れ合いながら生活の場を共有します。デザインが、長野県の県民生活向上に役立つ所為がここにあると思います。
デザインは、今や一部のデザインに携わる人たちだけのものではありません。生活者に支持されているか、産業の発展に貢献しているか、地域社会にとって必要とされているか、それが新しい長野県デザイン組織の再編に必要であると痛切に感じたところであります。これらの課題に応えることのできる組織が求められていると確信しています。

2002年7月5日

入会のご案内

長野県内で行われるデザイン事業に係わりのある、もしくは関心のある事業体（法人・団体など）、および個人であればどなたでも入会できます。

入会のメリット

- 県内外デザインビジネスの情報入手
- クリエーター・行政・団体との連携構築
- 専門家研修への参加・情報入手
  契約書・知財権・下請法・スキルアップ等
- 協会に依頼される商品ブランド化相談の紹介
- 協会主催イベント・サイトでのPR展示・プレゼン・配布等
- 協会機能・組織の活用
  個人で出来ないイベント開催・ユニット起業等

入会にあたっては本会会員の推薦と認証手続きが必要です。推薦者がいない場合、別途面談の機会を設けますので、協会事務局までご連絡ください。また、所定の入会金と年会費のご負担をお願いいたします。

入会金

法人・団体会員：	30,000円
個人会員：	10,000円

一般会費（年額）

法人・団体会員：	40,000円（人数制限なし）
個人会員：	10,000円

別紙「入会申込書」に所要事項をご記入のうえ、ファックス、E-mailまたは郵送にて本会まで（裏表紙をご参照ください）ご送付ください。

使う

信州のクリエイティブがここから始まる。

デザインに関するさまざまなご相談をお受けします。

製品のデザイン、広報の方法、ホームページや印刷物の制作など、お悩みのご相談はお気軽にどうぞ。ご要望を伺った上で、適切なデザイナーの紹介や開発などに関わる考え方のアドバイスをいたします。
相談は無料です。まずはお電話、もしくはメールで当会事務局へお問合せください。

ぶどうまつり のぼり旗
ADV 塩尻市　AD・D 衛クローバーデザイン

中山道ロゴマーク
ADV 塩尻市　AD・D UNYdesign

塩尻市手提げ袋
ADV 塩尻市　AD・D でざいんと

ADV：広告主　AD：アートディレクション　D：デザイン

マッチングプロジェクトご利用の流れ

長野県内で行われるデザイン事業に係わりのある、もしくは関心のある事業体（法人・団体など）、および個人であればどなたでも入会できます。

1 相談のお申し込み
お電話、E-mailでご相談の概要をお伺いします。

2 事務局で相談
お悩み、ご要望を直接お伺いします。

3 デザイナーのご紹介
必要に応じて、複数のデザイナーをご紹介します。面談して過去の仕事を直接確認していただきます。

4 デザイナーに発注
協会を経由せず、最適なデザイナーに直接業務発注してください。ご要望があれば業務契約のサポートを協会がいたします。

ご相談・お問合わせ

デザインに関するお悩みやお問合わせなどお気軽にご相談ください。

■長野県デザイン振興協会 中南信拠点
〒399-0736 長野県塩尻市大門一番町12番2号
塩尻市民交流センター（えんぱーく）内4階405号室

■長野県デザイン振興協会 事務局
〒380-0838 長野市県町584 長野県経営者協会会館内
TEL：026-238-6360　FAX：026-238-6442

TEL：026-238-6360
E-Mail：contact@ndpa.jp
Web：http://www.ndpa.jp
ウェブサイトでは協会会員紹介ページをご覧になれます